

## 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金

(地方創生先行型交付金)

御嵩町

## ○地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金

### 【地方創生先行型 基礎交付分】

	事業名	事業の概要
1	地方版総合戦略人口ビジョン策定事業	子育て環境の充実や地域の人材育成、観光振興施策などを促進し交流人口の増加や地域の活性化を図る「御嵩町版総合戦略」を策定するために、必要な専門的な調査、外部専門家による検討会議等を実施する。また人口ビジョンの分析に必要な調査等を実施するもの。
2	移住交流促進体制構築事業	御嵩町の人口の社会移動動向や地域課題である公共交通の促進をふまえ、移住・交流促進体制の構築に取り組むもの。域外の有用なまちづくり人材等を招聘し、地域住民と行政が大学・民間等のノウハウを活用して、地域の課題・構造的背景の抽出、課題分析を進め、地域の課題解決や地域づくり推進のために求められる人材育成に取り組む。
3	観光プロモーション促進事業	地域の自然環境や史跡、観光施設、体験プログラムや食などの魅力を広く発信し、観光の誘客、交流人口の促進を図るため、観光ガイドブックの作成などによる情報発信力の強化や国内プロモーションなどを実施する。
4	ぎふ・みたけの木育推進事業	将来の森林づくりを担う子どもたちに対し、木材利用や環境保全に対する理解を深めるとともに、「木育」の取り組みを進めるために実施するもの。森林の中で子どもたちの活動・体験事業や木育学習、保育園や子育て支援施設等において、直接木をみて触れることのできる木のおもちゃや木製遊具を整備する。

## ○地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金

### 【地方創生先行型 上乘せ交付分】

	事業名	事業の概要
5	官学民連携 未来につなぐ！ふるさとみたけカルタ作成事業	行政、大学、地元住民が連携・協働して御嵩町の地域資源や自然、風景、歴史、人など次世代に残していきたいものやこれからのまちづくりの取り組みを記載した独自の郷土かるたを作成するもの。学生が地域住民との交流を図りながら基礎調査等を行い、デザインに反映させていき、地域や学校ではこれらを活用した教育活動を推進するとともに、地域を理解し愛着を深める機会を創出し、地域に誇りを持つ人材の育成を推進するもの。
6	御嵩町移住交流・子育て支援ポータルサイト構築事業	御嵩の自然環境や生活、四季の暮らしなど移住の参考となる町の基本的な情報や空き家バンクなどの物件情報といった移住定住に関する情報と子育て支援情報（制度、助成内容、公園、相談窓口、親子で楽しめるイベント）などを包括するデザイン性に魅力あるポータルサイトを構築し、移住促進と子育て支援の充実を図る。
7	地域資源活用による地域経済活性化事業	御嵩町の地域資源の掘り起しや特産品認定事業である「みたけのええもん」を地域ブランドとして、デザインの魅力向上や販路拡大のための支援等を行うとともに、ふるさと納税制度の積極的な活用により、地域に対する関心や愛着を深め、交流人口拡大と地域経済の循環を図る。
8	支え合いの地域づくり推進事業	地域支援事業における高齢者への多様な日常生活上の支援体制の充実・強化に向けて、助け合い・支え合い意識の醸成を図り、住民の地域での支え合い活動を推進するため、指定居宅介護支援事業に関わる事業者及び介護支援専門員等が、本来の職種、職域、利害を超えて連携し、充実したサービスを提供ができるよう、介護サービスの専門家による講演会を実施する。 あわせて、現在独自の見守りネットワークなどに協力している民間事業所や介護保険事業所を含め、広く町民へも今後の高齢者ボランティア等に対する意識の醸成を図るため、高齢者福祉、介護予防等に精通している著名人にも講演を行う2部構成の講演会を予定している。
9	子どもの発達支援推進事業	子どもの発達支援の充実と出産子育てから自立就労までのライフステージに応じたつなぐ支援を提供していくため、未就学時に「ことばの教室」に入級していた児童のその後の状態を把握するための調査を実施する。また専門家等の意見を聴取ながら、今後の支援の基礎資料（保護者のニーズ等）を得るものとする。
10	すくすくもぐもぐ子育て応援事業	子どもが地域で健やかに育つ環境づくりを進めるため、地域での子育て意識を啓発する子育て応援講演会の実施や家庭、保育士、調理員、栄養士などの連携強化と食への関心と食を営む力の基礎を培うための食育推進事業を実施する。
11	里山再生！森林保全活動推進事業	地域住民らで組織される森林ボランティアによる里山林再生整備として、枯木除去、更新伐採などをを行い、森林機能の再生、強化をはかるとともに、伐採材を利用した環境教育や子どもを対象とした木育事業の実施することで、次世代の担い手育成と多世代交流を図るもの。

# 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業評価シート

(基礎交付分)

No	事業名	事業の概要：目的	事業始期		事業終期	
			年	月	年	月
1	地方版総合戦略人口ビジョン策定事業	子育て環境の充実や地域の人材育成、観光振興施策などを促進し交流人口の増加や地域の活性化を図る「御嵩町版総合戦略」を策定するために、必要な専門的な調査、外部専門家による検討会議等を実施する。また人口ビジョンの分析に必要な調査等を実施するもの。	H27	3	H27	10

本事業における重要業績評価指標（KPI）					実績値
指標		指標値	単位	目標年月	
指標①		—	—	—	—
指標②					

事業効果		事業効果の説明	
本事業は地方創生に非常に効果的であった	—		
本事業は地方創生に相当程度効果があった	—		
本事業は地方創生に効果があった	—		
本事業は地方創生に対して効果がなかった	—		

今後の方針		今後の方針の理由	
事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる		総合戦略及び人口ビジョンとも策定完了のため	
事業内容の見直し（改善）を行う（または、行った）			
特に見直しをせず事業を継続する			
継続的な事業実施を予定していたが中止した			
当初予定通り事業を終了した	○		

有識者からの評価			
事業の評価		意見	
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	—		
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	—		

# 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業評価シート

(基礎交付分)

No	事業名	事業の概要：目的	事業始期		事業終期	
			年	月	年	月
2	移住交流促進体制構築事業	御嵩町の人口の社会移動動向や地域課題である公共交通の促進をふまえ、移住・交流促進体制の構築に取り組むもの。域外の有用なまちづくり人材等を招聘し、地域住民と行政が大学・民間等のノウハウを活用して、地域の課題・構造的背景の抽出、課題分析を進め、地域の課題解決や地域づくり推進のために求められる人材育成に取り組む。	H27	3	H28	3

本事業における重要業績評価指標（KPI）				実績値	
指標		指標値	単位		目標年月
指標①	住民と行政が連携した社会課題解決に向けた事業件数	3	件	H28.3	1 件
指標②					

事業効果		事業効果の説明	
本事業は地方創生に非常に効果的であった		評価指標の実績値は目標値に及ばなかったが、当事業の目的である地域課題の解決や地域づくり推進に向け、専門的なノウハウを活用しながら4回のワークショップなどを行い「御嵩あかでんランド」というひとつの企画を立案することができた。 参加者は、地域住民、役場職員をはじめ町外の大学生にも参加してもらい、「外からの目」を取入れながら町の魅力再確認しながら課題解決に向けた取組を行うことができた。	
本事業は地方創生に相当程度効果があった			
本事業は地方創生に効果があった	○		
本事業は地方創生に対して効果がなかった			

今後の方針		今後の方針の理由	
事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	○	本事業において企画された「御嵩あかでんランド」の実現に向け、さらにワークショップなどを実施して、地域住民と行政が協働してイベントを開催する。 参加者に、実際に企画したアトラクションを具現化したイベントを開催することで、成功体験を経験してもらい、自走していけるコミュニティの形成や地域づくり活動を実施していける人材の育成を目指す。	
事業内容の見直し（改善）を行う（または、行った）			
特に見直しをせず事業を継続する			
継続的な事業実施を予定していたが中止した			
当初予定通り事業を終了した			

有識者からの評価	
事業の評価	意見
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	

# 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業評価シート

(基礎交付分)

No	事業名	事業の概要：目的	事業始期		事業終期	
			年	月	年	月
3	観光プロモーション促進事業	地域の自然環境や史跡、観光施設、体験プログラムや食などの魅力を広く発信し、観光の誘客、交流人口の促進を図るため、観光ガイドブックの作成などによる情報発信力の強化や国内プロモーションなどを実施する。	H27	3	H28	3

本事業における重要業績評価指標（KPI）					実績値		
指標			指標値	単位	目標年月		
指標①	観光施設の利用者数 ・わいわい館		12,000	人	H28.3	10,414	人
指標②	観光施設の利用者数 ・中山道みたけ館		13,000	人	H28.3	12,563	人

事業効果		事業効果の説明	
本事業は地方創生に非常に効果的であった		重要業績評価指標での観光施設の利用者数は、指標値に対して実績値は及ばなかったものの、観光プロモーション促進事業で製作した観光PR動画、観光ホームページ、パンフレットを活用した誘客促進の事業展開が28年度からとなり、数値的效果の表れは今後になる。	
本事業は地方創生に相当程度効果があった	○		
本事業は地方創生に効果があった			
本事業は地方創生に対して効果がなかった			

今後の方針		今後の方針の理由	
事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	○	今回の事業で製作した観光PR動画、観光ホームページ、パンフレットを活用した観光プロモーションを展開していくとともに、外国語に対応した成果品であるため、外国人誘客への情報配信を行う。また、観光ホームページでは最新の観光情報を掲載することで、発展的な事業展開を行う。	
事業内容の見直し（改善）を行う（または、行った）			
特に見直しをせず事業を継続する			
継続的な事業実施を予定していたが中止した			
当初予定通り事業を終了した			

有識者からの評価			
事業の評価		意見	
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった			
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった			

# 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業評価シート

(基礎交付分)

No	事業名	事業の概要：目的	事業始期		事業終期	
			年	月	年	月
4	ぎふ・みたけの木育推進事業	将来の森林づくりを担う子どもたちに対し、木材利用や環境保全に対する理解を深めるとともに、「木育」の取り組みを進めるために実施するもの。森林の中で子どもたちの活動・体験事業や木育学習、保育園や子育て支援施設等において、直接木をみて触れることのできる木のおもちゃや木製遊具を整備する。	H27	3	H28	3

本事業における重要業績評価指標（KPI）				実績値	
指標		指標値	単位		目標年月
指標①	木育推進するための学習講座やイベントの開催回数	10	回	H28.3	15 回
指標②					

事業効果		事業効果の説明	
本事業は地方創生に非常に効果的であった	○	木育推進活動として講師による木のおもちゃなどを活用した学習会を12回（町内4保育園、子育て支援センター、児童館）、造形展等による地域住民との活動2回（町内2保育園）、PRイベント開催1回（夏まつり）を実施した結果、木育推進活動の累計は計15回となり、指標値10回に対して150%の実績となり、非常に効果的な成果を得た。	
本事業は地方創生に相当程度効果があった			
本事業は地方創生に効果があった			
本事業は地方創生に対して効果がなかった			

今後の方針		今後の方針の理由	
事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	○	本事業の学習会におけるアンケート結果によると、39人中30人、約77%の保育者が「非常に良かった」と回答していた（5段階評価）。その理由としては、子どもが木のぬくもりを感じ、木に触れる良い機会だったことや工夫して遊ぶ姿（園児の創造性が発揮できる機会）が見られたことなどが上げられていた。 学習会等を通じて、幼児期から豊かな自然を守る、豊かな人間性を育むための木育を推進することの重要性を改めて強く感じたことから、保育園の年間指導計画に木育の項目を盛り込み、1年を通じてかつ継続的な取り組みを進めていく。（常設又はイベント時に木育コーナーの設置や地域住民を交えた木に触れある活動の創設、園周辺の自然探検等）	
事業内容の見直し（改善）を行う（または、行った）			
特に見直しをせず事業を継続する			
継続的な事業実施を予定していたが中止した			
当初予定通り事業を終了した			

有識者からの評価	
事業の評価	意見
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	

# 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業評価シート

(タイプⅡ)

No	事業名	事業の概要：目的	事業始期		事業終期	
			年	月	年	月
5	官学民連携 未来につなぐ！ ふるさとみたけカルタ作成事業	行政、大学、地元住民が連携・協働して御嵩町の地域資源や自然、風景、歴史、人など次世代に残していきたいものやこれからのまちづくりの取り組みを記載した独自の郷土かるたを作成するもの。学生が地域住民との交流を図りながら基礎調査等を行い、デザインに反映させていき、地域や学校ではこれらを活用した教育活動を推進するとともに、地域を理解し愛着を深める機会を創出し、地域に誇りを持つ人材の育成を推進するもの。	H27	10	H28	3

本事業における重要業績評価指標（KPI）				実績値
指標	指標値	単位	目標年月	
指標①	プログラム参加住民及び学生数	30	人	H28.3
指標②				

事業効果	事業効果の説明
本事業は地方創生に非常に効果的であった	<p>町にある県立東濃実業高校と連携協定を締結している名古屋芸術大学と連携・協働して、子ども向けに御嵩町総合計画の内容を基にした「みたけカルタ」を作成した。カルタ作成にあたり、地域資源や郷土の特色をデザインに反映させるための基礎調査を実施し、多くの学生、地域住民の参加があった。</p> <p>参加した地域住民は、基礎調査におけるインタビューなどの交流のなかで「外からの目」に触れ、改めて地域資源の魅力に気づき、地域への誇りを再認識する機会となった。</p> <p>製作したカルタの反響は良好で、子どもたちが郷土を知り、愛着を醸成していくツールとしての活用が期待できる。</p>
本事業は地方創生に相当程度効果があった	
本事業は地方創生に効果があった	
本事業は地方創生に対して効果がなかった	

今後の方針	今後の方針の理由
事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	<p>町内の小中学校、各施設へ配布しすでに活用が始まっている。今後もさらにカルタを活用できる機会を増やし、「みたけカルタ」を使用したカルタ大会などのイベント企画する。イベントに向けて子どもたちがカルタの内容を熟知していくことで、郷土の知識を深め、御嵩町への愛着の醸成につなげる。さらには地域に根付く人材の育成に寄与することを目指す。</p>
事業内容の見直し（改善）を行う（または、行った）	
特に見直しをせず事業を継続する	
継続的な事業実施を予定していたが中止した	
当初予定通り事業を終了した	

有識者からの評価	
事業の評価	意見
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	



# 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業評価シート

(タイプⅡ)

No	事業名	事業の概要：目的	事業始期		事業終期	
			年	月	年	月
6	御嵩町移住交流・子育て支援ポータルサイト構築事業	御嵩の自然環境や生活、四季の暮らしなど移住の参考となる町の基本的な情報や空き家バンクなどの物件情報といった移住定住に関する情報と子育て支援情報(制度、助成内容、公園、相談窓口、親子で楽しめるイベント)などを包括するデザイン性に魅力あるポータルサイトを構築し、移住促進と子育て支援の充実を図る。	H27	10	H28	3

本事業における重要業績評価指標（KPI）				実績値	
指標		指標値	単位		目標年月
指標①	ポータルサイトアクセス数	3,000	件/月	H28.3	0 件
指標②					

事業効果		事業効果の説明	
本事業は地方創生に非常に効果的であった		事業評価指標であるポータルサイトへのアクセス数については、開設時期が平成28年4月になったため、実績値として計ることはできなかったが、4月開設早々に当該ポータルサイトをきっかけに移住相談があったことから、一定の効果があったといえる。 移住者のインタビュー動画の視聴や、カレンダー機能を活用したイベントなどの支援情報を包括的に情報提供できている。	
本事業は地方創生に相当程度効果があった			
本事業は地方創生に効果があった	○		
本事業は地方創生に対して効果がなかった			

今後の方針		今後の方針の理由	
事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる		現在は、4月末のアクセス数1,928件、5月末アクセス数2,981件と順調に数値を伸ばし、目標指標数値に近い実績値が得られている。今後も継続的に新鮮な情報提供ができるようタイムリーな情報更新を行うとともに、新しい動画を追加するなどサイト内を充実させることで、移住定住の促進と子育て支援の充実につなげる。	
事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)			
特に見直しをせず事業を継続する	○		
継続的な事業実施を予定していたが中止した			
当初予定通り事業を終了した			

有識者からの評価	
事業の評価	意見
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	

# 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業評価シート

(タイプⅡ)

No	事業名	事業の概要：目的	事業始期		事業終期	
			年	月	年	月
7	地域資源活用による地域経済活性化事業	御嵩町の地域資源の掘り起しや特産品認定事業である「みたけのええもん」を地域ブランドとして、デザインの魅力向上や販路拡大のための支援等を行うとともに、ふるさと納税制度の積極的な活用により、地域に対する関心や愛着を深め、交流人口拡大と地域経済の循環を図る。	H27	10	H28	3

本事業における重要業績評価指標（KPI）				実績値
指標	指標値	単位	目標年月	
指標①	みたけのええもん魅力向上に関するアンケートでの購入希望度数	80	%以上	H28.3
指標②				

事業効果	事業効果の説明
本事業は地方創生に非常に効果的であった	○ みたけのええもんを、より効果的に発信ができるPR方法のセミナーを事業者向けに開催したところ、著名な講師であったこともあり、東京、名古屋、京都など遠方からも多くの参加があり、地域ブランドとしての認知度、知名度が向上した。また、みたけのええもんの魅力向上と販売促進のため、統一したデザインで、紙袋、ノボリ旗、ホームページなどを作成したことで、一体的なPRで広く発信することができた。
本事業は地方創生に相当程度効果があった	
本事業は地方創生に効果があった	
本事業は地方創生に対して効果がなかった	

今後の方針	今後の方針の理由
事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	○ 平成28年度では、加速化交付金を活用した御嵩町観光基本計画策定業務の中で、みたけのええもんの観光商品化の提案や消費者を意識した戦略作成などを行う。また、認定団体の課題の洗い出しを目的にワークショップの開催も予定している。
事業内容の見直し（改善）を行う（または、行った）	
特に見直しをせず事業を継続する	
継続的な事業実施を予定していたが中止した	
当初予定通り事業を終了した	

有識者からの評価	
事業の評価	意見
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	

# 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業評価シート

(タイプⅡ)

No	事業名	事業の概要：目的	事業始期		事業終期	
			年	月	年	月
8	支え合いの地域づくり推進事業	地域支援事業における高齢者への多様な日常生活上の支援体制の充実・強化に向けて、助け合い・支え合い意識の醸成を図り、住民の地域での支え合い活動を推進するため、指定居宅介護支援事業に関わる事業者及び介護支援専門員等が、本来の職種、職域、利害を超えて連携し、充実したサービスを提供ができるよう、介護サービスの専門家による講演会を実施する。 あわせて、現在独自の見守りネットワークなどに協力している民間事業所や介護保険事業所を含め、広く町民へも今後の高齢者ボランティア等に対する意識の醸成を図るため、高齢者福祉、介護予防等に精通している著名人にも講演を行う2部構成の講演会を予定している。	H27	10	H28	3

本事業における重要業績評価指標（KPI）				実績値	
指標		指標値	単位		目標年月
指標①	講演会参加者全体による介護保険制度の必要性及び満足度	80	%以上	H28.3	81 %
指標②					

事業効果		事業効果の説明	
本事業は地方創生に非常に効果的であった	<input type="radio"/>	平成28年1月29日、支え合いの地域づくり推進事業講演会にて、第1部は「たすけ上手、たすけられ上手で、お互いさまの地域に」と題し、中部学院大学短期大学部准教授 大井智香子氏による講演、第2部は「がばいばあちゃんと今の私」と題し、島田洋七氏による講演を行った。当日は介護保険事業所職員、町見守りネットワークに参加している方を含む300名の参加があった。今後、介護保険法の改正で医療・介護の枠を超えた町独自の取り組みが必要な中で、絆の大切さ、地域での助け合いが大切であることを確認することができた。また、高齢者に対するボランティアに関するアンケート調査も講演会参加者に対して行い、6割の方が、ボランティアに参加する意欲を持っていること、話し相手、送迎、ゴミ出しや買い物代行に参加したい等の結果が得られたことから、今後、どのような「機会」を作っていくか検討していくうえで参考になるデータを蓄積することができた。	
本事業は地方創生に相当程度効果があった	<input type="checkbox"/>		
本事業は地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>		
本事業は地方創生に対して効果がなかった	<input type="checkbox"/>		

今後の方針		今後の方針の理由	
事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	<input type="checkbox"/>	講演会で地域の在り方を考えるきっかけができたため、今後は社会福祉協議会、介護保険事業所、各種団体と協議を重ねていき、高齢者ボランティアポイント制度の創設や、新しい総合事業への移行、地域包括ケアシステム導入、協議体の設立、生活支援コーディネーターの人選を進めていくことによって、元気な高齢者によるサロンや、筋力トレーニングマシンを使った教室など御嵩町でできる資源を生かし、介護給付費の削減に努めていきたい。	
事業内容の見直し（改善）を行う（または、行った）	<input type="checkbox"/>		
特に見直しをせず事業を継続する	<input type="checkbox"/>		
継続的な事業実施を予定していたが中止した	<input type="checkbox"/>		
当初予定通り事業を終了した	<input type="radio"/>		

有識者からの評価	
事業の評価	意見
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	

# 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業評価シート

(タイプⅡ)

No	事業名	事業の概要：目的	事業始期		事業終期	
			年	月	年	月
9	子どもの発達支援推進事業	子どもの発達支援の充実と出産子育てから自立就労までのライフステージに応じたつなぐ支援を提供していくため、未就学時に「ことばの教室」に入級していた児童のその後の状態を把握するための調査を実施する。また専門家等の意見を聴取ながら、今後の支援の基礎資料(保護者のニーズ等)を得るものとする。	H27	10	H28	3

本事業における重要業績評価指標（KPI）					実績値	
指標		指標値	単位	目標年月		
指標①	就学前後のサービス利用者、児童発達、相談等に関する支援の満足度	60	%以上	H28.3	51	%
指標②						

事業効果		事業効果の説明	
本事業は地方創生に非常に効果的であった		ことばの教室を利用したアンケート調査結果から、保護者として良かったことは、「子どもの発達に関する不安の軽減した」が54.8%、「気軽に相談できるようになった」が47.3%という評価(241人中146人回答)を得ているものの、60%以上という指標値を下回った。 今後、取り組むべき施策の方向性に向けた事業展開につなげることをしたい。	
本事業は地方創生に相当程度効果があった	○		
本事業は地方創生に効果があった			
本事業は地方創生に対して効果がなかった			

今後の方針		今後の方針の理由	
事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	○	ことばの教室アンケート結果や有識者会議(ワークショップ形式)等によると、ことばの教室の指導内容や相談機能については、子ども自身の成長発達への支援となっている、保護者の不安解消や自己肯定感を高める役割、保護者同士の交流の場になっているなどの評価がある。一方で、専門的な療育の必要性や障がい受容に関する保護者支援の必要性が指摘されたことから、ことばの教室の機能強化(児童発達支援センターの設置検討)、未就学から就労までの途切れのないつなぎの支援体制づくり(縦横的なネットワークづくり)、関係機関(母子保健や保育園、学校、行政、地域)の支援内容を熟知し、繋げる調整役コーディネーターの設置を検討していく。	
事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)			
特に見直しをせず事業を継続する			
継続的な事業実施を予定していたが中止した			
当初予定通り事業を終了した			

有識者からの評価	
事業の評価	意見
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業評価シート

(タイプII)

No	事業名	事業の概要：目的	事業始期		事業終期	
			年	月	年	月
10	すくすくもぐもぐ子育て応援事業	子どもが地域で健やかに育つ環境づくりを進めるため、地域での子育て意識を啓発する子育て応援講演会の実施や家庭、保育士、調理員、栄養士などの連携強化と食への関心と食を営む力の基礎を培うための食育推進事業を実施する。	H27	10	H28	3

本事業における重要業績評価指標（KPI）				実績値	
指標		指標値	単位		目標年月
指標①	講演会、食育講座参加者による満足度	80	%以上	H28.3	92 %
指標②					

事業効果		事業効果の説明	
本事業は地方創生に非常に効果的であった	○	子育てに不安を抱える保護者を対象とした子育て応援講演会を平成28年1月31日に実施し、その事業におけるアンケート結果の満足度は89%（121名の参加のうち96名が回答、5段階評価）であった。また、町内各保育園等での園児向け栄養士による食育講座を計10回開催し、講座を聴講した保育者によるアンケートの満足度は94%（22名全員が回答、5段階評価）であった。指標値80%以上に対して、満足度の平均値は92%の実績であったことから、非常に効果的な成果を得た。	
本事業は地方創生に相当程度効果があった			
本事業は地方創生に効果があった			
本事業は地方創生に対して効果がなかった			

今後の方針		今後の方針の理由	
事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	○	食育については、「保育所保育指針」等に基づき、保育園での食育への関心をさらに高めるため、年間指導計画に盛り込み、その計画をもとに継続的食育活動に取り組んでいく。食育講座のアンケート結果や園児の聞き取り調査などによると、朝食を摂らない、偏食の子どもが近年増加傾向、また、食物アレルギーを持つ子どもの増加などから、地域住民との菜園活動（栽培、収穫等）や保護者向け啓発活動などを通じて食に対する関心を深める活動を実施していく。 また、地域での子育て支援策として、現在ぼっぼかんで実施している地域子育て支援拠点事業について、新たな教室等を創設するなど既存事業をブラッシュアップする形で相談・情報交換等の充実を図っていく。	
事業内容の見直し（改善）を行う（または、行った）			
特に見直しをせず事業を継続する			
継続的な事業実施を予定していたが中止した			
当初予定通り事業を終了した			

有識者からの評価	
事業の評価	意見
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業評価シート

(タイプⅡ)

No	事業名	事業の概要：目的	事業始期		事業終期	
			年	月	年	月
11	里山再生！森林保全活動推進事業	地域住民らで組織される森林ボランティアによる里山林再生整備として、枯木除去、更新伐採などを行い、森林機能の再生、強化をはかるとともに、伐採材を利用した環境教育やチップロード整備、都市部からの林業体験などを実施することで、次世代の担い手育成と人材交流を図るもの。	H27	10	H28	3

本事業における重要業績評価指標（KPI）				実績値	
指標		指標値	単位		
指標①	地域住民による里山保全活動数	6	回以上	H28.3	2回
指標②					

事業効果		事業効果の説明	
本事業は地方創生に非常に効果的であった		森林整備用品などの購入により、里山林再生への能率が向上し森林が持つ公益的機能の強化につながった。加えてウッドチップパー機の活用によりチップロードが整備され、平成27年11月、平成28年3月に親子を中心として開催された里山体験イベントにおいて林内散策が可能となり、次世代の担い手となる子ども達に林業への興味を抱かせることができた。 また木育・環境教育においては平成28年2月に開催された「環境フェア2016」にて町有林より伐採された不用木を活用した「木の枝のスプーン作り」を行い、町内外に木の有効活用をPRできた。	
本事業は地方創生に相当程度効果があった			
本事業は地方創生に効果があった	○		
本事業は地方創生に対して効果がなかった			

今後の方針		今後の方針の理由	
事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	○	森林ボランティアによる里山林再生の取り組みが引き続き行われ、町内の各種団体や庁内の各部署と連携して町内外より林業体験活動希望者を見込むことが可能であるため。	
事業内容の見直し（改善）を行う（または、行った）			
特に見直しをせず事業を継続する			
継続的な事業実施を予定していたが中止した			
当初予定通り事業を終了した			

有識者からの評価	
事業の評価	意見
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	
本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	